

糖尿病自己管理支援に関する研究 ～DialBetics～

東京大学大学院医学系研究科
社会連携講座 健康空間情報学講座

特任准教授

脇 嘉代

(東大糖尿病・代謝内科)

社会連携講座



企画情報運営部

糖尿病・代謝内科

循環器内科

健康空間情報学講座

(Department of Ubiquitous Health Informatics)

+d

医療従事者、患者それぞれにおいて、
場所や時間といった空間的な制約がなく、医療が提供されること
を目指し、共同研究を開始

2009年9月～

NTT
docomo

生活習慣病をターゲットとした背景

例えば糖尿病…
糖尿病患者＋予備群は2000万人と言われており
社会的な重要課題である

生活習慣病の予防と治療は生活習慣の改善が基本だが
自己管理を支援する医師の場所や時間の制約が課題

家庭

患者自身の自己管理

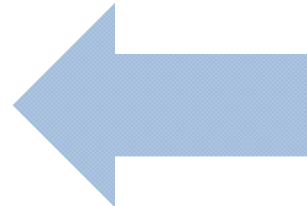
運動習慣



食生活



生活習慣
改善支援



クリニック、診療所



場所や時間の制約を
受けない主治医との連携

場所や時間の制限なく主治医との連携を行うシステムを目指す

ITを用いた糖尿病自己管理支援システム ～DialBetics※～

かかりつけ医が**場所や時間の制限なく**患者の自己管理の支援を可能に



東京大学病院 社会連携講座での主な取り組み



東大病院とドコモの共同研究が目指す将来像

- ・ 研究成果を地域医療の現場で使っていただき、地域医療に貢献
- ・ 地域医療の現場からフィードバックを受け、さらに研究を前進

研究機関・企業
(研究開発)

hd 東大病院
The University of Tokyo Hospital

共同研究

NTT
docomo

診療支援技術提供

現場情報還元

地 域
(医療現場)



診療所



病 院



御清聴、ありがとうございました。